

# Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

2011-’12年度  
国際ロータリー第2770地区



2011.08  
第2号

## ◆春日部市「やつたり踊り」

春日部市大畑地区に350年前から伝わる伝統行事で、江戸時代大畑村と備後村の間にある不毛の土地をめぐって起こった争いに決着をつけるため相撲が行われました。その結果大畑村が勝利し、「ヤッタリ、ヤッタリ、ヤッタリーナ」と囃し立てて喜び踊ったことが始まりといわれています。地元の若衆の躍動的な踊りが見ものです。



国際ロータリー第2770地区  
ガバナー 三國 明

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイペックスター東館1階  
TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011  
E-mail : ri2770-184@plum.plala.or.jp



ロータリアンの皆さん、お元気ですか。いよいよ三國年度もスタートしてひと月たちました。毎日クラブ公式訪問に明け暮れています。どのクラブも増強への意欲が高まっています。

今月は会員増強月間です。皆さん方のクラブにおいていろいろ努力されていることだと思います。しかしながら言うは易く、行うは難しです。会員増強がうまくいっているクラブとそうでないクラブの違いは何処にあるのでしょうか。増強に成功しているクラブにはそれなりの理由があります。会長が意欲的だとか、会長を始め全員がその気になっているとか。周年記念行事に向けて何名まで増やす計画だとか、目標を立てています。

次に、増強がうまくいっているクラブは必ず目玉となるすばらしい奉仕プロジェクトがあり、全員が参加して取り組んでいると言うことがあります。お金や言葉だけでなく、奉仕するものは行動している姿があります。みんなが生き生きとして奉仕活動に取り組んで、クラブが活気あり雰囲気も良いのです。それを非ロータリアンが周りから見ていて、ちょっと誘われただけで入ってくることがあるのです。人のため世のため少しは良いことをしたい、と思っている人は沢山あります。こんなクラブに入ったらそんな善意が実現でき、ついでに良い友達も沢山出来そうに思うからです。入会間もない人が退会していくパターンを考えてみましょう。入会はしてみたが、ただ決まり切った時間を決まり切ったやり方で過ごして、昼ご飯を食べ、友達と二言三言会話を交わすのみで帰ってくるだけの例会。居場所がない、自分が活躍する場が与えられない、先輩からロータリーの基本的な話をしていただけない。先輩からなかなか声をかけてもらえない。若い人は若い人同士、古い人は古い人同士で座っている。みんなで汗水流し

## 会員増強月間に寄せて

2011-2012年度ガバナー 三國 明

て参加する奉仕プログラムがない。有ってもほとんどのシニアは口ばかりで出てこない。何か新しいことをやろうとすると先輩会員から、そんなもの駄目だよと言われてしまう。こんな状態があと十年続いたら日本のロータリーはどうなるでしょう。今の30代、40代の若い世代から後継者が出てこないとどうなるでしょう。去る1月にサンジェゴで開かれた国際協議会本会議の増強に関する講演で、元RI会長のジョン・スマージ氏は先人の教えとして次の三点を強調していました。すなわち、1つ目は、私たちは優秀で積極的に参加してくれそうな新会員をクラブに入会させれば、それが会員増強だと思っていますが、その人達にやる気を起こさせ、やりがいのあるプログラムに参加する機会を与えなければ、いずれ知らない間に居なくなってしまうでしょう。

2つ目は、ロータリアンの年齢層は少しづつ高くなってきており、毎年会員が10%ずつ減っています。この減少を補いつつクラブを強化するには、優秀な若手会員を何千人もつれてきて、年齢層のバランスを良くする必要があります。3つ目は、今までロータリーという団体の真の目的を知らずに入会する人が多くいました。ロータリーの知識に乏しい人を会員に迎えたクラブは、結果的に弱くなってしまいます。実はこれらの発言は、1978年、1969年、1921年のRI会長の発言です。会員増強に近道はありません。クラブの活性化、すなわち効果的なクラブになることがすべてなのです。CLPのもとに、クラブの棚卸しをしましょう。そして、クラブの中長期目標を立てましょう。○○周年までに何人増強しようとみんなで決めましょう。目玉となる奉仕プロジェクトをみんなで決めましょう。決めたらみんなで取り組みましょう。そして感動をみんなで共有しよう。結果はついてきます。奉仕活動の際には必ずロータリーの顔が見えるようにしましょう。

### クラブ会長・クラブ幹事へお知らせ

- (1) 9月は新世代月間です。新世代委員会と相談して卓話の依頼などプログラム企画を準備して下さい。
- (2) 新会員に対してオリエンテーションプログラムを実施して下さい。

## 会員増強維持月間に因んで

# こころの中を見つめよう 博愛を広げるために 「ロータリーに新風を」トップ・ザ会員減少

8月は会員増強維持月間です。グループガバナー補佐、クラブ会長、そして2770地区内会員の皆様にお願いです。新しい仲間を迎えるために「先ず行動」出来ないことを探すより、出来る方法を皆で考えて行動しよう。

2011～2012年度カルヤン・バネルジーRI会長は「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」とテーマを出され、今年度三國ガバナーはトップ・ザ会員減少を目指す。今までと同じやり方では同じ結果しか出ない、リスクを恐れずイノベーション（革新）新しい試みに取り組むことと発信されました。

地区増強維持委員会ではガバナー方針の下、委員会を開催し会員増強維持方法の試みについて協議してまいりました内容を、各クラブ会員増強維持活動関係者の皆様に参考になればと思い掲載させていただきます。

- 1、増強は増強委員会のみの仕事ではない、会員増強のために何が出来るか考える。増強委員会、広報委員会、地域社会奉仕委員会等、組織的、横断的に取り組む。各部門と、それぞれの立場から。
- 2、各クラブが本年度の会員増強計画数の目標を設定して取り組む。(各クラブ10%増目標)
- 3、退会者を無くす工夫を凝らす。（具体的な

会員増強維持委員長 染谷 良雄（吉川RC）

方法の検討）

- 4、会員増強は若い世代と女性にターゲットを絞る、魅力的奉仕団体と見られる条件を割り出して増強活動に活用する。
- 5、女性会員と入会5年未満の会員にアンケート調査を実施し、その結果を分析して入会しやすい条件を割り出して増強活動に活用する。
- 6、ロータリアンの世代交代が進んでいるとの認識から事業後継者の入会を推進する。
- 7、地区ナンバー2770と同じ会員数を目標。
- 8、入会の誘いをするには、自分は何故ロータリアンであるか先ずお話をすると。
- 9、RI会長賞に挑戦

RI会員増強維持計画の表彰。RI会員増強拡大賞。小規模クラブ会員増加の表彰。

最後に大杉能弘会員増強維持部門委員長は共に行動する仲間を探そうとの合言葉により中村靖治担当諮問のご指導を頂きながら、委員会一同仲間づくりに一丸となり、地区内クラブのお手伝いをさせていただきます。そして8月の会員増強維持月間のみならず年間を通して、全クラブへ卓話に伺う準備は整っております。是非とも卓話のご依頼を心よりお待ち申し上げます。

## 会員増強維持部門セミナー



会員増強維持部門委員長 大杉 能弘

7月2日（土）午後1時30分より春日部商工センターアクシス4階において、三國ガバナーアドバイザーとして会員増強維持部門のセミナーが開催されました。

地区研修リーダー、パストガバナーを始め、地区役員、各クラブの会長・幹事の総勢266名が参加し、暑さを吹き飛ばす熱いセミナーとなりました。

第一部では、研修リーダーである北清治パストガバナー（RIアシスタントロータリーコーディネーター）による基調講演をいただきました。

第二部では、担当諮問である中村靖治パストガバナーとのセッション方式で各クラブ会長が増強目標を発表し、増強意欲を語られました。各クラブの志気はさらに高まったようです。

ご参加下さいました皆様に心より御礼し、さらなるご活躍をお祈りいたします。

**先輩より****クラブの活性化を期して**

パストガバナー 石井 治

8月は「会員増強・ロータリー拡大月間」である。会員増強の「増」は会員数を増やすことであり、「強」は会員の質を高めること、即ち会員の内なる人を強くする、内なる心を磨くことである。ロータリー内において「会員増強」という言葉に接しない時はないと言っても過言ではない。今月は会員増強月間であることに鑑み、クラブの活性化具合を計る基である会員増強を主に話させていただきたい。

私は21年前、埼玉県が2つの地区に分割し3年目、60歳でのガバナー（1990～'91）就任で、4クラブの拡大と、約300名の増員を達成したが、過去の、時代背景の異なる年度の自慢話を語るつもりはない。

速報で、直前ガバナー井橋年度の地区か委員が下げ止まり、約2500名を維持できた、との事、同慶の至りである。

三國ガバナー年度のサポーターとして、47年間ロータリーに身を置く幸せ、喜び、誇りを現在の会員だけでなく、多くの人に伝えたい。そして、なぜ会員が減り続けるのか、ロータリーの魅力とは何なのかをロータリアン一人ひとりが真剣に考え、会員増強についても話し合うべきなのである。

以前、あるロータリアンの「会員増強」について述べられた文章に、賛同できるところがあったので御紹介させていただこうと思う。

検討すべき問題が大きく4つあり、この4つの問題について検討を加え、会員維持ひいては会員増強に向かう方法を考えたものである。

第一にロータリーの変化である。2001年の規定審議会以後、創始者ポール・ハリスらがロータリーの本質としていた多くのことが変えられたように思う。方針の緩和により生じたものからロータリーの厳格な規律が低下し、例会そのものにも全く緊張感がなくなってきた。以前は会員全員の出席が当然と考えられた例会（※私は47年、例会無欠席）、地区大会やI・Mに出席して、ロータリーを学ぼうという姿勢や気持ちが極めて低下してきている。

第二にロータリアンの社会的、経済的な環境が著しく変化し、在籍できない会員が増加している現実である。その昔、ハーバード・テラーが「四つのテスト」を草案し、苦しい経済状況を乗り切る規範としたことを見つめなければならない。（業種によっては「四つのテスト」も効果がないのだ）

第三には20世紀後半から現在にかけての人間の生活態度、ものの考え方方が大きく変化していることも見逃せない。ロータリーの奉仕の哲学に支えられて活動したロータリアンが減って、物事を深く考えようとしない人間が増えているという現象がある。ロータリーも真実味のないものになってきているのでは……。

最後にロータリーの魅力はどうなっているのか。活力を与えるものは何か。ロータリーの魅力は何といってもすばらしい仲間とすべてを話し合える例会である。

ロータリーの活力を取り戻せるとすれば、ロータリアン一人ひとりがロータリーの魅力を取り戻すべく真剣に考え、魅力を再現する努力を始めなければならない。そのなかから会員増強の努力が再び生まれることを期待したい。

と、結んでいる。

会員増強は疎か会員維持さえも困難な状況、私を含め会員それぞれがこれら4つの問題を含む様々な問題点について協議、解決してクラブの活性化を図らなければロータリーはどんどん魅力・活力を失ってしまうであろう。

私も会員個々の自覚と努力に期待したい、と思う。

**参考文献**

大阪第2640地区 岸和田東RC 中井義尚氏 「会員増強についていま何を考えるべきか」

太斜字体は石井パストガバナーご本人のご意見

**後輩より**

平成21年6月25日入会  
第5グループ  
クラブの活性化について  
思うこと

樋口 雅之（上尾RC）

祖父と父がロータリークラブにお世話をしていたこともあります。平成21年6月に入会させていただいて丸二年になります。

初めは、ロータリークラブという敷居が高いのかなという不安がありました。実際に例会や各種事業に参加させていただいてみると、父よりもベテランの大先輩から、自分と年齢の近い先輩まで、皆が親身に接してくださり、とても楽しく有意義なロータリーライフを送らせていただいております。

入会2年目の昨年度は、ホビー委員長を仰せつかり、野球やゴルフといったスポーツを通じて、メンバー間の親睦、他クラブとの交流を図る活動ができました。

クラブの活性化について、まずは皆が参加することが活性化への第一歩かと思います。

そのためには、例えば親睦交流事業などを通じて、メンバーが「ぜひ参加したい」と思えるような環境づくりができるれば、自ずと若いメンバーにも各種事業や奉仕活動への参加意識も高まり、クラブの活性化につながっていくのではないかと思います。

今後とも、ロータリー活動を通じて、自己研鑽していくことを思います。

ご指導よろしくお願ひいたします。



平成22年6月1日入会  
第8グループ  
ロータリークラブの  
活性化について思うこと

平田 徳久（越谷RC）

伝統ある越谷RCに入会して、早1年2ヶ月。優しく熱心な諸先輩にリードされつつ、今日に至っています。入会の動機は20年前に一度越谷RCにお世話をさせておりましたが、サラリーマン会員ゆえ転勤により、やむなく退会。

親しかったメンバーとの思いもかけぬ再会を契機に、また定年を迎える時間的にも余裕ができた事から、これまでの人生の恩返しのつもりで、いくらかでも社会奉仕が出来ればと再入会した次第です。

とは言え、やはり20年前の越谷RCの雰囲気が大変良かった事が、再入会決断の大きな要因と言えます。当時も今も越谷RCにはクラブ活動に対する会員の熱き思いが脈々と引き継がれています。

和気あいあいの中にも、しっかり筋の通った例会。そして会員相互のコミュニケーションの原点でもある各種委員会活動。私はクラブの活性化は例会と委員会活動にあると思います。楽しい中にもロータリーの理念を会員相互が理解しつつ、如何に例会と委員会活動を実践出来るか。

私のような新入会員は、何はともあれ諸先輩の努力により運営される、例会・委員会に参加する事が肝要でしょう。

50周年を迎えた越谷ロータリークラブ。誇り高き熱心な諸先輩の背中を追いつつ、これからも大いにロータリー活動を楽しみ、そして自分自身を高めて行ければと思います。

## ニューオリンズ国際大会報告

# ～ガバナーご苦労さん、ガバナー・エレクト激励会～



ニューオリンズ国際大会に参加していただいた皆様、お疲れ様でした。

5月21日の開会式に始まり5月24日の閉会式での田中作治RI会長ノミニーの受託演説に至るまで当2770地区の会員の皆様には長期間の大会出席でした。

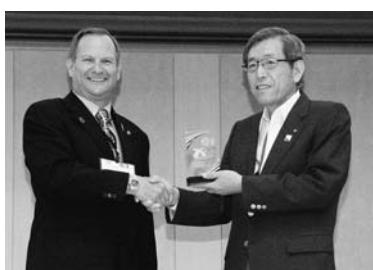
最終日の夜には当地区恒例の井橋ガバナーご苦労さん、三國ガバナー・エレクト激励会が催されました。

3月11日、奇しくも会長エレクト研修セミナー直後に見舞われた東日本大震災の影響もある中、当日ゲストも含め約100名のご参加をいただき盛大に開催できたことをご報告致します。国際大会は日本人参加率が高い中、その原動力と言える当地区の参加者数の多さは、この恒例行事にあるといつても過言ではありません。

毎年国際大会に参加しようを合い言葉に、今後もこの世界的にも群を抜いた恒例行事を継続し、さらなる活性化につなげましょう。



## 2011～12年度 第1回 「ロータリー財団地域セミナー」が開催されました。



平成23年6月30日に、標記セミナーがグランドプリンスホテル高輪において、朝9時から午後4時までの時間で開催されました。

登録者は全国から435名で、当地区からは三國ガバナーを初め、パスト・ガバナー、ロータリー財団部門の各委員長、及び委員、副幹事の皆さんで20名の登録でした。

プログラムは主催者・来賓挨拶の後、「伝統的な地区における未来の夢計画への提案」というテーマで第2750地区のクラブ合同プロジェクトの発表で始まり、午前の部で恒久基金日本委員会副委員長を担当されております北パスト・ガバナーから「恒久基金と大口寄付の重要性」というテーマで、パワーポイントを使っての説明がありました。

また、RITS部長のRobert Mintz氏からは、「ロータリーカードの促進」についてのスピーチ



ロータリー財団部門委員長 鈴木 英男（越谷北RC）

チがありました。この中で、ロータリーカード推進の優秀地区と優秀クラブの表彰があり、第2770地区と八潮RCが表彰されました。前年度まで第一ゾーンのカードコーディネーターを担当されました久世パスト・ガバナーと一緒に、第2770地区の全クラブがカード所有による表彰で井橋直前ガバナー、クラブの全会員がカード所有による表彰で八潮RCの太田直前会長が登壇され、会場から大きな拍手を受けておりました。そして、表彰者から喜びのコメントもありました。

午後からは、「ロータリー平和フェローシッププログラム」についてのパネルディスカッション、また、日本ポリオ研究所の山崎修道理事長から「ポリオ根絶のエンドゲームと日本の課題」というテーマでポリオ根絶についてのお話がありました。

質疑応答では50分の時間が予定されていましたが、「東日本大震災」の支援について、又、「未来の夢計画」関連で新地区補助金とグローバル補助金のプロジェクト推進についての質問が多く、時間を10分程延長しての質疑応答でした。

最後に、Robert Mintz氏から閉会の辞があり、一日のセミナーが終了しました。



## 三國ガバナーアドバイザリーコーディネーター委嘱式報告



ブライダル委嘱式委員長 佐々木 直之 (大宮北東RC)

7/9 (土) 浦和ロイヤルパインズホテルにて、三國ガバナーアドバイザリーコーディネーター委嘱式」が執り行われました。

桶本毅 (浦和RC) 委員の司会、大熊進 (越谷南) 委員の開会の言葉に始まり、三國明ガバナーより、「2007~08年度の第2570地区 (埼玉西北) に引き続き、今年度より第2720地区 (熊本・大分) にてブライダル委嘱式との事で、最も歴史のある当地区として他の模範となるよう更なる発展をお願いしたい。」とのご挨拶の後、担当諮問委員 飯野雪男 PDG・池畠秀夫(浦和西RC) 社会奉仕部門委員長より、日頃のご尽力への感謝、今年度へのお願い等のご挨拶を頂戴致しました。

この後に、三國ガバナーよりコーディネーターのお一人毎に委嘱状と記念品が手渡され、気持ちも新たに1985~86田中徳兵衛年度以来26年目のブライダル委嘱式がスタートしました。委嘱式は、志村廣 (大宮東RC) 委員の閉会の言葉にて終了しましたが、引き続き行われた「相談コーナー」には数多くの登録者が来場し、活気に満ち溢れた雰囲気でのスタートとなりました。

幸せな『家族』の誕生にロータリーとして関与できる事に感謝しつつ、今年度も年6回の「相談コーナー」、年2回の「友愛の広場」、年2回の「ミニ友愛の広場」と活発な活動を予定しておりますので、皆様方より登録者のご推薦のご協力をお願い申し上げ、ご報告と致します。

### 公式訪問レポート (ガバナー公式訪問を終えて)



例会日：平成23年7月5日 (火)  
越谷ロータリークラブ

会長：石河 秀夫／幹事：坂巻 邦夫  
いよいよ新年度がスタートしましたが、その先駆けとして、三國明ガバナー、鶴見裕地区幹事をお迎えして公式訪問例会の栄誉に浴することができました。

当クラブから選出されました井橋吉一前直前ガバナーより三國明ガバナーへガバナーバッジの引継ぎ式が行われ、花束が交換されました。(写真参照)。また、中島美三郎直前地区幹事と鶴見新地区幹事との間でも引継ぎの花束の交換を行いました。なかなかめったに見られる光景ではなく、多少の段取り違いはありましたが、厳かなうちに無事終了いたしました。

三國明ガバナーからは、パワーポイントを利用した極めてわかりやすい且つ機知に富んだ熱心なお話をいただきました。三國ガバナーの意気込みとユーモアのセンスを感じられる内容でした。

その後例会終了後会場を会議室に移してクラブ協議会を開催し、各委員会の活動方針について熱心に議論をしていただき、適切なアドバイスをたくさんいただきました。

なかでも会員増強部門では退会防止策についてカウンセラーの有効活用の提案や、例会のあり方についての示唆に富む当意即妙なアドバイスをいただき、適度の緊張感のなかにリラックスした有意義な討議ができたと思います。

夕方、三國新ガバナーの歓迎と井橋直前ガバナーの慰労を兼ねて懇親会を持ちましたが、開始直前に突然の激しい雷雨に見舞われ驚かされました。しかし雨降ってなんとか例えのごとく、会は和やかに進み、新しいスタートを切るにふさわしい会となりました。三國ガバナーお身体に気をつけて一年間よろしくお願いいたします。



例会日：平成23年7月13日

蓮田ロータリークラブ

会長：波多野勝治／幹事：岩崎一隆

光圀公ならぬ三國ガバナー、格さん、助さんのお供も連れて御自らお車を運転され例会場に到着されました。公式訪問に先立ち懇談、袴を脱ぎ、胸襟を開き、余人を交えずクラブの諸問題について隔離のない意見交換が出来ました。素晴らしい年度計画書だとお褒めの言葉を頂き安堵。例会が始まり新会員の入会セレモニー、ガバナー自ら3人の新会員にバッチを付けて頂きました。

銀 (しろがね) も金 (くがね) も玉も何せむに勝れる宝 (新) 会員に及 (し) かめやも



例会日：平成23年7月6日 (水)

桶川ロータリークラブ

会長：遠藤 計／幹事：栗原 広孝

7月6日 (水)、三國ガバナーそして第5グループ尾花ガバナー補佐をお迎えして公式訪問を開催させて頂きました。



例会でのガバナーの卓話ではパワーポイントを駆使し、RIのテーマ・地区運営方針・活動方針等を大変分かりやすく、また易しく説明して頂き、ロータリー暦がまだ浅い会員達にも大変勉強になったこと思います。

クラブ協議会では各委員長の委員会毎の事業計画の発表と説明があり、三國ガバナーから委員会毎にご指摘と助言を頂戴しました。最後に総評として、尾花ガバナー補佐より「このクラブの委員長達は事業計画の発表と説明の際に自分の言葉で説明している」とお褒めの言葉を頂き、まだ年度初めの委員長にとってこの一年間の励みになったこと思います。

三國ガバナー、尾花ガバナー補佐ご指導有難うございました。これからも暑い日が続きますので、御身体にご自愛下さい。

例会日：平成23年7月7日

北本ロータリークラブ

会長：吉田 幸夫／幹事：熊倉 陽一

7月7日 2011~2012年度1回目の例会を三國ガバナーと第5グループ尾花ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち会長、幹事を交えての懇談会では、北本RCの課題である会員増強の部分でのアドバイスをガバナーにいただき、ガバナー補佐からはさらに実例を交えたお話を聞かせていただきました。

懇談会終了後の例会では、公式訪問と共に、吉田会長年度の初めての例会とあって、津田パストガバナー、同令夫人を始め13名にも及ぶ、吉田会長のご友人が例会に花を添えていただきました。

いつも違う大変興味深い例会では、三國ガバナーにRI会長方針や地区方針、ガバナーの体験などをプロジェクトの映像を中心にユーモア溢れる卓話ををしていただきました。

その後のクラブ協議会においては、各委員会の報告と今年度の活動予定をお話し、各委員会ごとにガバナーからの講評、そしてガバナー補佐からは、さらに具体的なアドバイスをいただき、大変有意義な公式訪問例会となりました。

大変暑い中での公式訪問となりましたが、ご訪問に心より感謝申し上げます。

## 事務局員研修会

地区会計 石塚 健一



三國ガバナー年度が始まって4日目の7月4日(月)、午後3時30分より浦和ワシントンホテルにおいて第2770地区の事務局員研修会が開催されました。総勢79名の参加者に恵まれ、厳粛な中で始まりました。研修リーダーの北清治パストガバナー、田中徳尚ガバナー・エレクトにご挨拶を頂戴し、三國ガバナーより地区運営方針(2011~2012年)を報告。鶴見地区幹事より事務手手続きについて連絡ののち、質疑応答・休憩を経て懇親会へ。懇親会では事務局員全員が自己紹介。一言で会場を笑いの渦に巻き込む事務局員の力量にも驚いたが、ガバナー公式訪問日程に触れ、「宜しくお願いします」と自クラブをアピールされた事務局員の多さにも驚いた。最後に大東地区副幹事が「・・・私たちは、皆さんなしでは生きていけません」と挨拶され会場が爆笑の渦に包まれましたが、まさにその通りと感じているのは私だけではないだろう。和やかな中に始まった懇親会も大変盛り上がり、懇親を深める有意義な会となりました。事務局員の皆様、一年間宜しくお願い致します。



### ロータリー財団



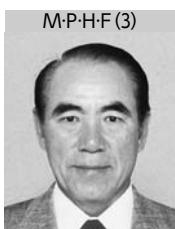
三國 明  
(春日部西)  
平成23年7月11日



福島貞夫  
(春日部西)  
平成23年7月11日



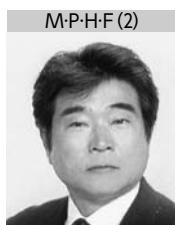
田中祥皓  
(春日部西)  
平成23年7月14日



中田 勇  
(春日部西)  
平成23年7月14日



鶴見 裕  
(春日部西)  
平成23年7月11日



中野重雄  
(春日部西)  
平成23年7月11日



真野多加史  
(春日部西)  
平成23年7月11日



三國 明  
(春日部西)  
平成23年7月11日



東条和彦  
(大宮東)  
平成23年7月11日



田中祥皓  
(春日部西)  
平成23年7月11日



高橋 靖  
(春日部西)  
平成23年7月11日



鶴見 裕  
(春日部西)  
平成23年7月11日



河本 博  
(大宮東)  
平成23年7月11日



中野重雄  
(春日部西)  
平成23年7月11日



岩上暢夫  
(春日部西)  
平成23年7月15日



隅田俊彦  
(大宮南東)  
平成23年7月2日入会  
隅田税理士事務所  
税理士



森内正宏  
(大宮南東)  
平成23年7月2日入会  
(株)ウイングプラン  
地質調査



君波 真  
(大宮西)  
平成23年7月4日入会  
野村證券(株)さいたま支店  
証券業



加田洋二  
(大宮南)  
平成23年7月5日入会  
(有)ユニコーン  
指圧治療



渋谷佳孝  
(大宮南)  
平成23年7月5日入会  
(株)金源  
不動産業



安東謙二  
(浦和北)  
平成23年7月6日入会  
元(株)帝国ホテル  
洋菓子製造(パティシエ)



大塚秀之  
(大宮南東)  
平成23年7月7日入会  
大塚装芸  
塗装工事業



大橋 薫  
(大宮南東)  
平成23年7月7日入会  
(有)大橋塗装工業  
塗装工事業



## 2011～2012年度 国際ロータリー第2770地区

### 地区大会東日本大震災並びにポリオ撲滅記念チャリティーゴルフコンペのご案内

地区大会記念チャリティーゴルフ大会実行委員長 渡邊 良一

地区大会行事の一環として恒例のコンペを下記の通り開催いたします。本記念ゴルフ大会はポリオ撲滅の他、東日本大震災の復興支援を行うチャリティーゴルフとして下記の通りご案内申し上げます。

- ▣日 時 平成23年10月3日（月）雨天決行  
※スタート時間・組合せは登録受付後に送付いたします。
- ▣場 所 プレステージカントリークラブ 東西インアウト  
栃木県栃木市梓町455-1 TEL 0282-31-1111
- ▣募 集 人 員 各クラブ 4名（地区役員を含む）
- ▣登 録 料 クラブ負担金 10,000円 個人登録料 6,000円  
※内1,000円はポリオ撲滅、東日本大震災復興支援のチャリティー。
- ▣登録申込み 個人参加者を登録申し込みにご記入のうえ、FAXにてお申込みください。  
登録申込み及び登録料は、**8月8日**までに必着でお願いします。
- ▣プレー 費 プレー費は個人清算です。約13,000円 キャディー昼食付

《連絡先》 地区大会記念チャリティーゴルフ実行委員会（春日部南ロータリークラブ事務局内）  
電話・FAX 048-733-1022 Eメール kasukabe-s-rc@athena.ocn.ne.jp

### 8月のスケジュール

曜日	月	曜日	月	曜日	月	曜日	月
火	1	火	9	浦和北東	水	17	春日部南
水	2	杉戸／杉戸中央 春日部イブニング	水	10	浦和ダイヤモンド	木	18
木	3	川口北	木	11		金	19
金	4	岩槻	金	12		土	20
土	5		土	13		日	21
日	6	川口モーニング 米山記念奨学部門セミナー	日	14		月	22
月	7		月	15		火	23
月	8	浦和南 第2回G補佐会議	火	16		水	24
							(注)上の段は昼間の例会 下の段は夜間の例会

### 文庫通信 (286号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー  
50周年記念事業の一つとして1970  
年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

#### ◆ 地区大会の講演から ◆

- ◎「日本の歩むべき道」小泉純一郎 2011 8p (D. 2590)
- ◎「日本人のわすれもの」櫻井よしこ 2011 2p (D. 2690)
- ◎「日本経済復活のキーワード“グローバルセンス”」財部誠一 2011 3p (D. 2760)
- ◎「地域の繁栄は国の繁栄」金美齡 2011 2p (D. 2630)

- ◎「私とスペシャルオリンピックス活動」有森裕子 2011 6p (D. 2750第30回インターラクターフィルム年次大会)
- ◎「変わりつつあるロータリー」江崎柳節 2011 3p (D. 2760)
- ◎「ロータリー財団の方向性」川尻政輝 2010 5P (D. 2780)
- ◎「CLPとクラブ活動について」松宮剛 2010 9P (D. 2780)
- ◎「津波が変えた私の人生」道下俊一 2008 10P (D. 2780)

[申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]

ロ  
タ  
リ  
ー  
文  
庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15  
黒龍芝公園ビル3F  
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時  
休館=土・日・祝祭日